

かー リング 性 1人 2

-9

調査 名 ボーリングNO. 事業・工事名 - FNO ボーリング名 緯 36°42′35,3040″ No 2 調査位置 北 発注機関 栃木県日光土木事務所 調査期間 2010-02-12 ~ 2010-02-23 東 経 139 ° 40 ' 38.3690 " ボーリン グ責任者 コッチ鑑定者 主任技師 調査業者名 代理人 ハンマー 落下用具 使用機種 孔口標高 386.65 m 試 錐 機 角 方 上 盤勾配 鉛水平 0° <u>)</u> 90° 下 向 総掘進長 9.05 m 度 エンジン ポンプ 孔内水位 標準貫入試験 原位置試験 試料採取 標層深 柱 土 色 相相 地層岩体区分 室 掘 深 10cmごとの 打 打撃回数 撃 深 深試採 試 験 名 および結果 内 進 質 対対 尺高厚度 状 度 度 度 料 取 (m) X 密稠 試 月 0 10 20 番 方 义 分 調 度度 事 貫入量 験 日 測定月日 値 Ν 号 法 10 20 30 (m) (m) (m) (m) (m) 10 20 30 40 50 礫混じりシルト。軟らかい。 盛土 旧表土。黒ポク様の礫混じり有機 質シルト。 含水量・中~多位。粘着性・中位。 径10~150mm程度の礫が疎らに混 じる。 じる。 深度2.00m以深は粘着性が大位。 深度3.00m付近から褐色を帯びる 1.50 30 暗褐 30 ==== 軽石混じ ==== ヴシルト ==== (M) 1.15 径2~20mm程度の軟らかい軽石が 混じる。 12 -5 マサ状・碟状コアの強風化岩(デイサイト)。 岩版区分は[D]相当。 機球コアが主体のデイサイト。 マサ状・破砕状コアを伴う割れ目 が発達する。 深度8.00m以浅の割目は、風化汚 深が顕著。 深度8.20m付近から片状コアが多 くなる。 岩級区分は[D-CL]相当。 30 風化岩 淡青灰 -6 デイサイ (Da) 7.09 50 16 -8